

かしわば

第7号

2005.8

柏葉脳神経外科病院

A館

救急車専用通路

B館

皆さまの「もしも」に備える
当院の救急医療体制

かしわばゼミナール

脳卒中は、寒い時だけに起こる
病気だと思いませんか？

食べて健康
レタス

おしらせ

A館、B館入り口に看板を設置しました

7月、当院上空より撮影

皆さまの「もしも」に備える 当院の救急医療体制



いざという時にベストの医療を提供できるよう
高度な医療設備と技術を備え
24時間365日の診療体制で地域の救急医療を担当しています

万全の体制を整えた二次救急病院として

二次救急病院とは、入院が必要と思われる救急患者さんを受け入れ、24時間体制で診療に当たる病院です。当院は二次救急病院として、「いざという時」にベストの医療を提供できるよう万全の体制を整えています。

私たちが専門とする脳神経外科の病気は、時間にかかわらず発病し、悪化することが多く見られます。どんな時も適確な診断と治療を行い、地域の方々に『安全』と『安心』をお届けできるよう努力しております。

国道36号からの 救急車専用通路



1秒でも早く救急処置室へ

24時間、専任のスタッフが待機

国道36号から当院1階の救急処置室に直接乗り入れることができる救急車専用通路を設置し、救急患者さんの搬送時間を短縮しています。

24時間いつでも救急患者さんの処置を行えるよう、専任のスタッフが待機。一刻を争う重篤な脳脊髄障害に対しても、緊急救命処置ができます。

また、救急処置室と同じ1階に、『MR室』『X線CT室』『RI室』『X線室』『脳血管撮影室』『エコー室』『生化学検査室』が配置されていますので、いつでも迅速に適確な検査・診断を行うことができます。

私たちの考えていること

病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります。

病院の基本方針

- ・患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- ・医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- ・患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- ・医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- ・救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- ・地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- ・患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- ・自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- ・自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- ・治療について承諾・拒否する権利があります
- ・自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- ・自分のプライバシーを守る権利があります
- ・公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- ・病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

脳神経外科の あらゆる種類の 手術に対応



最新の手術機器と設備を備えた4階の手術室は2室あり、24時間いつでも緊急手術が行えるように整備され、一刻を争う手術対象の疾患の場合はもちろん、脳や脊髄のあらゆる種類の手術に対応できます。

室内はバイオクリーン方式で空気を清浄。高度先端医療を支える最新の顕微鏡手術器(Pentero)やレーザー光線装置、麻酔機器(Aestia)などが準備されています。

当院では、脳動脈瘤、脳腫瘍や頭部外傷などの手術を行っています。平成16年度の手術件数は、334件でした。

高度先端医療機器を駆使

24時間体制の 神経集中治療室

重篤な患者さんの容態を常時監視



また、脳卒中や頭部外傷の急性期および慢性期、開頭手術後の患者さんの治療に強力な効果がある『高圧酸素治療室』も備えています。

手術後の患者さんや、生命の危機が差し迫った重篤な患者さんを治療するのが『神経集中治療室』です。専任の医師と看護師が、先端の医療機器を駆使し、24時間体制で病状の回復に全力を注いでいます。



真夜中に急病に
なった時は？

重い症状が出たり、重症かどうか判断が迷う場合やどうしたらよいかわからない場合は、すぐに柏葉脳神経外科病院へお電話ください。24時間体制で脳神経の病気の急患を受け付けています。

24時間体制で受け付けています
柏葉脳神経外科病院
電話 011 - 851 - 2333

お電話では、次のようなこと
をお伺いします。

- ・どのような症状ですか？
- ・呼びかけには応じますか？
- ・歩行はできますか？
- ・現在、治療中の病気はありますか？
- ・受診される方の年齢・性別

受診の際には、以下のものをご用意のうえ、できる限りお付き添いの方と一緒に受診してください。

- ・健康保険証
- ・当院の診察券(お持ちの方)
- ・お薬手帳(お持ちの方)

かしわば ゼミナール 第7回

脳卒中は、寒い時だけに起こる 病気だと思つていませんか？

実は、暑い夏が要注意なのです

汗をかいたら 危険性が高まります

脳卒中（脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血等）は、寒い季節だけに起こる病気だと思つていませんか？ 実は、暑い夏が、脳卒中（特に脳梗塞）の危険性が高まる季節なのです。

気温が高くなると、人間は、汗をかいて体温を調整します。汗をかいて、体内の水分が不足してくると、血液がドロドロになり、流れが悪くなります。そうなると、血管の中に血の塊（血栓）ができやすくなり、脳梗塞の原因になります。

これを防ぐためには、十分に水分補給をすることが大切です。「のどが乾いた」と感じた時には、すでに体内の水分が不足している状況なので、汗をかくような暑い日は、乾きを感じる前に、こまめに水を飲むようにしましょう。

また、寝ている間にもかなりの量の汗をかくため、脳梗塞の危険性が高まります。睡眠前にも水分補給を心がけてください。

クーラーにも 気をつけましょう

外の気温が高い時に、急にクーラーに当たると危険です。急激な温度変化は、血圧の上昇を引き起こし、脳卒中（特に脳出血）につながります。自宅や自家用車での過度な冷房は控え、クーラーの効いている店舗や施設に行く場合は、上着を用意するようにしましょう。

暑い時に頭痛やめまいが起きたら、「夏バテだから」「最近、疲れてるから」とほうっておかずに、早めに受診するようにしましょう。



生で食べることが多いレタスですが、炒め物やスープにも向いています。

カロテン、カリウム、ビタミンC、Eが含まれています

カロテンは活性酸素の働きを抑制するので、老化やガンを防ぐ効果が期待できます。カリウムには体内の余分な塩分を排出し、むくみの改善や高血圧を防ぐ作用があります。

不眠改善効果も

茎を切った時に出る乳のような白い汁に含まれる『ラクッコピコリン』には、沈静、催眠効果があるといわれています。

周辺の緑もいっそう深まり、外来を訪れる患者さんにも、夏特有の強い日差しを防ぐため日傘をお持ちになる方々が目につきます。この日傘が、意外にも傘の起源で、古代オリエントの時代にまで遡ると聞きます。最近では、UVカット

編集後記

ト加工が施されカット率95%以上という日傘もあるそうで、気になる紫外線対策のひとつとして効果がありそうです。北海道の短い夏、楽しみ方は様々でしょうが、満喫するためにもこの時季、特に体調管理にはお気をつけください。（小川）

NEWS おしらせ

A館、B館入り口に
看板を設置しました

投書箱『みなさまの声』に、患者さんから「入り口が分かりにくい」とのご意見がありましたので、A館入り口には **A館 外来・病棟入口**、B館入り口には **B館 リハビリター** ション棟 の大きな看板を設置いたしました。

今後も皆さまからのご意見・ご要望に心を傾け、「よりよい病院作り」を行って参りたいと思っております。ご意見・ご要望がありましたら、お気軽に投書箱にお寄せください。

